



2月の園だより

学校法人 志賀学園
認定こども園
平第一幼稚園
令和5年1月31日

2月は1年で寒さが一番厳しいといわれる時期で、北風が肌を刺すような毎日です。今年の冬は、まだまだ寒さが続くようです。

こども園の園庭では、ほんのわずかな時間北風が止んだ日だまりの暖かさを感じられた時、歩けるようになったちゅうりっぷ組の子どもたちが、ヨチヨチと自分の足で園庭の遊具をめざして進む姿が見られました。

たんぽぽ・もも組の子どもたちは、凧あげを楽しみながら園庭を元気いっぱい駆け回る姿が見られました。

ばら・すみれ・さくら組の子どもたちは、肌を刺すような冷たい風にも負けず、縄跳びやマラソンなどといった寒さに負けない強さが見られるなど、一年の成長の大きさを感じております。縄跳びをしているさくら・すみれ組の子どもたちを見ていますと、日に日に縄跳びが上手になり、もっともっと跳べるようになりたいと自分から進んで意欲的に取り組む姿が見られる中で、さくら組は30日、すみれ組は31日に縄跳び大会が行われました。さくら組の子どもたちは、すみれ組からの経験もあり、長い時間跳べる子、いろいろな跳び方ができる子、お友だちの跳んでいる回数を数えて教えてあげる子、自分の跳んでいる回数を数えながら跳んでいる子、普段は跳べるのに緊張から失敗をして悔しがる子などいろいろな姿が見られました。

すみれ組の子どもたちは、縄の使い方を理解し、縄を回してジャンプを繰り返して跳べるようになった子、競い合うというよりも大会の雰囲気を感じられたらと思います。

2月3日は、節分です。「節分」には季節を分けるという意味があり、立春、立夏、立秋、立冬の前日のことです。昔は立春が一年の始まりでしたので、節分と言えば立春の前日を指すようになりました。悪いものや災いにたとえた鬼を、豆をまいて追い払い、一年の無病息災を願いましょう。

また、今年もこども園では、豆をまくだけにして食べることはしません。また、こども園からの持ち帰りもありませんのでご了承ください。

11日の『建国記念の日』は、「日本書紀」に記された日本で最初の天皇といわれる神武天皇即位の日本の紀元の始まりとして、明治5年に「紀元節」という祝日が定められていました。昭和23年に廃止されましたが「建国をしのび、国を愛する心を養う日」として1966年(昭和41年)に「建国記念の日」と定められました。

今年度も残すところ2ヶ月足らずとなりましたが、残り少ない日々を大切にしながら一年の締めくくりを行い、進級や進学への自信と期待を膨らませていきたいと思っております。

吉竹 芳江